

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和2年6月1日（月）
担当課	教育事業部歴史文化財課 龍野歴史文化資料館
電話	0791-63-0907

報道機関各位

日本遺産の構成文化財「もやい石」を屋外展示

昨年5月、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・舟主集落～」にたつの市が認定されました。1周年を機に、構成文化財の一つである「もやい石」を、室津を訪れた方々が観覧できるよう御番所跡公園に屋外展示しました。

もやい石の概要

室津に入港した北前船が係留するときに船のもやい(綱)を繫いだ石。昭和40年代後半の護岸工事の際に撤去されて、御番所跡公園（賀茂神社下北側の公園）に置かれていたものを地元団体「室津を活かす会」と共に整備しました。

現在、全国45の自治体が北前船の日本遺産に認定されていますが、もやい石（地域によっては船つぎ石などと呼ばれる）は通常撤去と共に廃棄されるか、残っていても埋まった状態ですので、室津のもやい石は全体像を見ることが出来る貴重な資料です。

・全長：約180センチ 重さ約600キロ 幅約40センチ



護岸工事前の室津の海岸。
手前の石がもやい石

整備中のもやい石



全体像が見られるように屋外
展示したもの

【参考】 その他の構成文化財

- (1) 室津の町並み：北前船で栄えた当時の様子を伝える町並み
- (2) 室津海駅館：北前船で財をなした廻船問屋三木半四郎(嶋屋)の住宅
- (3) 石仏：見性寺けんしょうじに三木半四郎が奉納した西国三十三所霊場の石仏
- (4) 日和山：北前船の船乗りたちが、出港前に日和を見た場所（現在の燈籠堂跡付近）